

世界の願い交通安全



交通教育から事故者救済まで 交通安全対策に万全を期す

館山市長 本間

譲

交通事故のない明るい
館山市を実現しようとい
う全市民の願いをかけて
昭和四十年九月、交通安全
全都市を宣言いたしました
が、以来、安全運動を
はじめ、施設整備等の交
通安全対策を積極的に推
進してまいりました。

この間、市民のみなさ

努力に対しまして心から

感謝申し上げます。

しかししながら最近の交
通量の急激な増加とともに
関係者一丸となつての効

率をもつしても防ぎ得

ず、増加の一途を辿つて

おります。そして今後、

更に悪化するであろうと

ころの交通事情を考えま

すと、安全都市の実現、

新らな施策としまして

次のようなことを検討

ます。

一、交通道德を守るとい

うことには、幼少時に習

うことは、幼少時に習

うことは、幼少時に習

うことは、幼少時に習

うことは、誠に容易なざる

ことは、誠に容易なざる

内部疾患の障害者に恩典 国民年金のワクがひろがる

国民年金制度は、とし
奮闘したびごとに充実し
しだいに初期の目的であ
る、国民の福祉をはかる
ため、障害者に対する法
制限の範囲を広げてきま
した。

これまでの経過をたど
ると、はじめは外部障
害(目、耳、そしゃく、
音声、言語、肢体不自由
等)のみでしたが、昭和
39年8月1日から精神病
結核が加わり、40年8月
1日より精神薄弱がとり
いられ、更に41年12月
1日より心臓、肝臓、腎
臓、血液病等の障害が年金
給付の対象となり、これ
で人間の主な機能障害が
年金を受けられるよう